

メンソレータム



札幌たの授サークル用ミニレポート

2002.1.23

仮説実験授業研究会

北海道・丸山 秀一

乾燥肌用の塗り薬を薬局で買ったら、懐かしいメンソレータムのマークが・・・でも・・・。

[質問]

「メンソレータム」という塗り薬があります。これはどこのメーカーの製品でしょうか。

予想

- ア メンソレータム社
- イ 近江兄弟社
- ウ ロート製薬
- エ 大鵬薬品

メンソレータム社？

ボクは「当然メンソレータム社の製品」と思っていたが、買った「メンソレータム AD 軟膏」には、「輸入・販売 ロート製薬」とあるではありませんか。でも「輸入・販売」だから、製造はやはりメンソレータム社か？ でも本当にそんな会社はあるのでしょうか。

[質問]

メンソレータム社は実際に存在すると思いますか。

予想

ア 過去にはあったが、いまはない

イ 実際に存在する

ウ そんな会社は過去も現在もない

メンソレータム社

メンソレータム社は米国ニューヨーク州オーチャード・パークに 1889 年に設立された市販薬の製造販売会社です。設立者はアルバート・アレクサンダー・ハイドで、最初は石けんとひげそり用クリームの製造販売会社でした。

彼の最初の薬のひとつがカンフル（樟脳）とメントール（はっか脳）をブレンドした咳止め薬でした。彼はメントールの効用を考え、軟膏の開発のために研究しました。そして 4 年間の薬剤師と医師による試験の後、メンソレータム軟膏を発売したのでした。

その後メンソレータム社は、150 カ国に商品を販売する会社まで成長したのです。そして 1988 年、日本のロート製薬に買収されて小会社となっています。

[質問]



メンソレータム軟膏のフタに描かれている看護婦さんのデザインは、いまや世界的に有名です。実は、この「小さな看護婦さん」には、モデルがいます。誰をモデルにしたものなのでしょうか。（画像はメンソレータムの CM）

予想

- ア ナイチンゲール
- イ 創業者の娘
- ウ 米国女優
- エ そのほか

リトル・ナース



「リトル・ナース」と呼ばれる女の子のモデルは、「小公子」などの映画に出演していた米国の人気子役女優のシャーリー・テンプルです。しかし、このデザインは米国のメンソレータム社が作ったものではありません。

[質問]



では、このメンソレータムのマークは、どこの国でデザインされたものでしょうか。

予想

- ア 日本
- イ 中国（香港）
- ウ 英国
- エ そのほか

日本で作られた「リトル・ナース」



リトル・ナースがメンソレータム軟膏のマークとして使われたしたのは 1931 年頃のことです。このマークをデザインしたのは、今竹七郎（1906～2000）さんで、日本のメーカーがデザインしたものなのです。彼は南海ホークスのマークや関西電力の社章なども手がけた有名なデザイナーです。



[質問]



メンソレータムによく似た薬で「メンターム」(近江兄弟社)という薬を見たことがある人もいるでしょう。効能も同じで、名前もデザインも似ています。メンタームのキャラクターは、「メンターム・キッド」というそうです。では、このふたつの薬の関係はどうなっているのでしょうか？

予想

- ア 全く関係がない
- イ メンソレータムは、最初「メンターム」だった
- ウ メンタームは、最初「メンソレータム」だった

メンターム・キッド



近江兄弟社

日本で最初にメンソレータムを発売したのは、メンソレータム社でもロート製薬でもなく、近江兄弟社という会社で1920年（＝大正6年）のことでした。

しかし、1974年末に近江兄弟社は倒産して、リトル・ナースの商標も、メンソレータム社に渡りました。そのメンソレータム社もロート製薬に買収され、現在ではロート製薬がメンソレータムを販売しているというわけです。

近江兄弟社はその後再建を果たし、メンソレータムの製造工程を使って「メンターム」と名称を変更して販売するようになりました。リトル・ナースももう使えなくなっていたので、メンターム・キッドに変えたというわけです。

[質問]

近江兄弟社がメンソレータムを販売したのは、わけがありました。どういう理由だったと思いますか。

予想

- ア 日本の衛生事情をよくするため
- イ キリスト教布教のため
- ウ 日米関係改善のため
- エ そのほか

信仰と商売の両立

1905(明治38)年の滋賀県立商業学校には、英語教師として米国から赴任した当時25歳のウィリアム・メレル・ヴォーリズ(1880-1964)がいました。彼は熱心に教育に取り組み、生徒から慕われていましたが、キリスト教の布教活動にも熱心で、そのため仏教関係者から反発されて、2年後には解任されてしまいました。

その後日本人と結婚し、帰化した彼(一柳米来留)は、1910年にヴォーリズ合資会社を興し、建築設計の仕事を始めます。彼の会社は、大阪の大丸デパート、関西学院大学、東京の山の上ホテル、明治学院など多くの建物を設計しました。

その後彼は、合資会社を解散し、「信仰と商売の両立」を目的に近江兄弟社を設立します。メンソレータム社の創業者は、ヴォーリズの布教活動の経済的援助のため、彼にメンソレータムの販売権を与えたのです。そういうわけで近江兄弟社はキリスト教信者が中心の異色薬品会社でした。

ヴォーリズは近江八幡市名誉市民の第一号であり、近江八幡市には今も、近江兄弟社学園というキリスト教系の私学があります。近江兄弟社の「兄弟」という名前は、キリスト教的な「人類皆兄弟」からのものなのです。

[質問]

メンソレータムは、本国である米国でも日本と同じように売られていると思いますか。

アメリカでのメンソレータム



メンソレータム関連商品は世界中で売られています。ただ米国では、メントールの香の成分に注目して、「頭痛や風邪による鼻づまりなどに効く」というのを強調しているようです。

日本で作られた「リトル・ナース」の腕章には、最初赤十字が描かれていたはずですが、メンソレータム社がこの商標を獲得したときに、Mの文字に変えられたようです。しかし、メンソレータム社では、現在も「赤十字」という名前の付いた医薬品を販売しています。また「リトル・ナース入浴剤」も売っています。

おわりに

意外と奥が深かったメンソレータムです。子どもの頃、薬箱に入っていたあのリトル・ナースの薬が懐かしくて調べてしまいました。

・主に次のサイトから調べました

ロート製薬社，近江兄弟社，Mentholatum 社，近江八幡市
(近江兄弟社のサイトの社史は疑問)

<http://www.dik.co.jp/seken/GOGEN/oro.htm>

<http://www2s.biglobe.ne.jp/~yoshi-fj/GAZO.HTM>

丸山 秀一 kasetsu.maruyama@nifty.com